

令和5年度中国地区空手道選手権大会開催要項

第45回中国地区空手道選手権大会
 第31回中国地区少年少女空手道選手権大会
 第25回中国地区中学生空手道選手権大会
 第78回国民体育大会空手道競技中国ブロック大会
 第3回全日本少年少女空手道選抜大会中国地区予選会（笹川杯）

- 1 主催 公益財団法人全日本空手道連盟 中国地区協議会
- 2 主管 山口県空手道連盟
- 3 協賛 公益財団法人全日本空手道連盟
- 4 後援 公益財団法人山口県スポーツ協会， 山口県教育委員会
- 5 開催期日 令和5年7月22日（土），23日（日）
- 6 会場 維新百年記念公園 大晃アリーナ
 〒753-0815 山口県山口市維新公園 4-1-1
 TEL：083-922-3712

7 種別（種目）及び出場人員

【選手】

学年	形競技個人戦	組手競技個人戦	形団体戦
小学1年生男子	2名	2名	3名編成で 2チーム
小学2年生男子	2名	2名	
小学3年生男子	2名	2名	
小学4年生男子	2名	2名	
小学5年生男子	2名	2名	
小学6年生男子	2名	2名	
中学生男子	2名	2名	
小学1年生女子	2名	2名	3名編成で 2チーム
小学2年生女子	2名	2名	
小学3年生女子	2名	2名	
小学4年生女子	2名	2名	
小学5年生女子	2名	2名	
小学6年生女子	2名	2名	
中学生女子	2名	2名	

成年男子組手個人戦	
1 軽量級（65kg未満）	2名
2 中量級（65kg～75kg未満）	2名
3 重量級（75kg超級）	2名
組手団体戦（5人制）	2チーム
少年女子組手個人戦	2名
成年女子組手個人戦	2名
少年男子組手個人戦	2名
成年男子形個人戦	2名
成年女子形個人戦	2名
少年女子形個人戦	2名
少年男子形個人戦	2名

【監督】 1日目2名，2日目2名

【コーチ】 1日目のみ2名

8 競技上の規程及び方法

競技は、公益財団法人全日本空手道連盟競技規定により行う。

監督は選手を兼ねることができない。

【組手競技】

① トーナメント方式とする。

② 次の組手安全具を着用すること。

共通

(公財) 全日本空手道連盟検定のニューメンホーNo. 6 以上、ボディプロテクター、マウスシールド(メンホー口元に装着する)、ボディプロテクター、セーフティカップ(小学3年生以上の男子のみ)

小学生

(公財) 全日本空手道連盟検定の小学生用拳サポーター(赤・青リバーシブル)、シンガード・インステップガードは白色の物で、(公財) 全日本空手道連盟検定のミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製とする。ただし、高体連用のインステップガード新製品(全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品)は使用可とする。

中学生

(公財) 全日本空手道連盟検定の拳サポーター(赤・青)、シンガード・インステップガードは白色の物で、(公財) 全日本空手道連盟検定のミズノ(株)、(株)東海堂、(株)ヒロタ、(株)守礼堂の各社製とする。ただし、高体連用のインステップガード新製品(全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年新製品)は使用可とする。

少年

(公財) 全日本空手道連盟検定の拳サポーター(赤・青)、インステップガード・シンガード(赤・青)、透明もしくは無色のマウスピース(任意)

ただし、拳サポーター、ボディプロテクター、インステップガード・シンガードは、WKF 検定のものも可とする。チェストガード(女子のみ)はWKF 検定のものとする。

また、高体連指定品のボディプロテクター、インステップガード・シンガードの使用も可とする。

成年

(公財) 全日本空手道連盟検定の拳サポーター(赤・青)、インステップガード・シンガード(赤・青)、透明もしくは無色のマウスピース(任意)

ただし、拳サポーター、ボディプロテクター、インステップガード・シンガードは、WKF 検定のものも可とする。チェストガード(女子のみ)はWKF 検定のものとする。

③ 組手団体戦について

勝敗が決定した時点で終了とする。

国体に準じ、次の(ア)～(ウ)の通りとし、競技開始前にその都度メンバー表を提出する。

(ア) 先鋒は少年男子

(イ) 次鋒は回戦毎に成年女子と少年女子の交互に出場する。1回戦はどちらが出場しても良い。

(ウ) 中堅以降は成年男子で編成する。

④ 競技時間およびポイント数について

小学生	1分30秒フルタイム	6ポイント差
中学生	1分30秒フルタイム	6ポイント差
高校生	2分フルタイム	8ポイント差
成年男子	3分フルタイム	8ポイント差
成年女子	3分フルタイム	8ポイント差

【形 競 技】

共通

(ア) 選手は1名（1チーム）ずつ演武を行い、演武後に、その場で得点の発表を聞く。

(イ) 審判員5名の得点（技術点70％，競技点30％として1回での点数表示）のうち，最高点と最低点の2名の得点を除いた3名の得点を合計した得点で決定する。

(ウ) 同点の場合は下記の事項を適用に順位を決める。

- ①得点となった3名の得点のうち，「最低点」の高い方の選手
- ②得点となった3名の得点のうち，「最高点」の高い方の選手
- ③得点となった3名の得点が全て同得点の場合，新たな形を演武する。

小学生

(ア) 第1ラウンドは，（公財）全日本空手道連盟基本形（一～四）の中より選定して演武し，ベスト4がメダルマッチへ進出する。

(イ) メダルマッチは，第1ラウンドで使用していない基本形，（公財）全日本空手道連盟第1指定形もしくは第2指定形の中より選定して演武する。

中学生

(ア) 第1ラウンドは，（公財）全日本空手道連盟第1指定形の中より選定して演武し，ベスト4がメダルマッチへ進出する。

(イ) メダルマッチは，（公財）全日本空手道連盟第2指定形および競技規定に定める得意形の中より選定して演武する。

少年

(ア) 第1ラウンドは5名ずつ2つのプールに分け，（公財）全日本空手道連盟第1指定形，第2指定形の中から選定して演武し，上位3名ずつ計6名が第2ラウンドに進出する。

(イ) メダルマッチは，第1ラウンドで使用していない（公財）全日本空手道連盟第1指定形，第2指定形および競技規定に定める得意形の中より選定して演武する。

(ウ) 第1プールの選手が赤帯，第2プールの選手が青帯とする。

(エ) 必要に応じて，3位決定戦を行う（要項10による）。

成年

上記「少年」に同じとする。

【服 装】

① 監督およびコーチ：

空手衣を着用し，左上腕に監督もしくはコーチ腕章を付けること。監督もしくはコーチ腕章は各県で用意のこと。

② 選手：

競技規定にそった空手衣を着用すること。（腰ひもを着用・女子胸ひも禁止）

赤帯・青帯は各自で帯を用意し着用すること。

空手着左胸に「県名胸マーク（縦15cm程度，横10cm程度）」，背中中央部に氏名を書いたゼッケン（縦20cm程度，横25cm程度）を4辺縫いつけること（両面テープ不可）。文字の色は黒色とし，各県で準備すること。

③ 競技役員・審判員：

規定の服装とする。

9 出場資格

- ①選手及び監督は、(公財)全日本空手道連盟会員であること。
- ②2日目の監督は、全空連公認地区組手審判員以上の審判員資格と、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ3以上の資格の両方の有資格者であること。

10 ブロック大会選出国体形競技選手について

成年男子形、成年女子形、少年女子形、少年男子形の各上位2名を国体ブロック代表選手とする。但し同種目2名の選手が同一県の場合3位選手から順に他県選手をブロック代表選手とする。

中国地区ブロックの追加選手1名については形競技4種目の内、出場権を獲得した選手がいない県もしくは出場選手がもっとも少ない県より選考する。

11 第2回全日本少年少女空手道選抜大会出場選手について

- ①個人戦について
各種目上位4名の所属県が、出場枠となる。
- ②形団体戦について
上位4チームの所属県が、出場枠となる。
- ③組手団体戦について
男女別個人組手出場者獲得合計点(1位8点、2位5点、3位3点)の上位4県が、男女別出場枠となる。

12 競技時間

令和5年7月22日(土) 小・中学生競技

役員・審判員・係員入館	8:00~	8:30
審判会議	8:30~	9:00
監督受付(小・中学生県別)・選手入館	8:15~	8:45
監督会議(小・中学生)	9:00~	9:30
開会式	9:45~	10:00
競技	10:00~	12:55
昼食・休憩	12:55~	13:30
競技	13:30~	17:00
閉会式・表彰	17:10~	17:30

※表彰は、できるだけ事前に随時行っておく。

令和5年7月23日(日) 少年・成年競技

選手・審判員・役員入館可	8:00~	8:30
審判会議	8:20~	8:40
監督受付(少年・成年県別)・選手入館	8:15~	8:45
計量	8:40~	9:00
監督会議(少年・成年)	8:40~	9:00
開会式	9:10~	9:30
競技	9:40~	12:10
昼食・休憩	12:10~	13:00
競技	13:00~	14:50
閉会式・表彰	15:00~	15:40

※表彰は、できるだけ事前に随時行っておく。

13 表彰

①個人戦及び団体戦について

組手団体戦以外は、各種目3位まで4名を表彰する。組手団体戦は3位決定戦を行う。なお、国体種目形個人戦においては、同一県の選手が1・2位に入賞の場合、国体ブロック選出選手を決定するために3位決定戦を行う。

②県別団体順位について

1日目と2日目それぞれについて、次の(ア)および(イ)の合計点で行う。

なお、参加点はなしとする。

(ア)個人種目：1位8点，2位5点，3位3点

(イ)団体種目：1位20点，2位15点，3位10点，4位7点

③『笹川杯』について

小学生総合の得点1位の県には、『笹川杯』が授与される。（令和4年度より10年間）

14 審判員

①審判員の推薦

各県連から全国および地区公認審判員8名を推薦し、構成する。但し、全数40名以下の場合、山口県、岡山県及び広島県に不足数を依頼する。

②審判団の編成

審判長と主管県連が協議して審判団の編成を行う。

15 参加申し込み

①申込方法

①参加申込書，②大会役員・審判員の推薦書を下記申込先にメールすること。

②申込先

山口県空手道連盟 事務局 藤田 洋一
s9u59rh8@ene.megaegg.ne.jp

③申し込み期限

令和5年6月6日（火）必着のこと

④参加料

次の(ア)～(エ)の合計金額を指定口座に振り込むこと。

(ア)小学生・中学生個人戦	1人1種目	2,000円
(イ)小学生団体形	1チーム	6,000円
(ウ)少年・成年	1県	80,000円
(エ)中国地区協議会年会費	1県	60,000円

指定口座

山口銀行吉敷支店 普通口座 5062087

全日本空手道連盟 中国地区協議会 事務局次長 藤田洋一

16 抽 選

組合せ抽選は、大会事務局にて厳正に行う。

17 宿泊及び弁当

①宿泊は、各県独自に申し込むこと。

②昼食の弁当は、大会役員・審判員・競技役員に限り主幹連盟が用意する。

③選手および監督の弁当は、各県独自に申し込むこと。

18 審判会議

- ①会場 維新百年記念公園 大晃アリーナ
- ②日時 令和5年7月22日 8：30～ 9：00
令和5年7月23日 8：20～ 8：40

19 監督会議

- ①会場 維新百年記念公園 大晃アリーナ
- ②日時 令和5年7月22日 9：00～ 9：30 小・中学生
令和5年7月23日 8：40～ 9：00 少年・成年

20 その他

①競技上の事故について

選手のエントリーに際しては、各県連盟の責任のもとで必ずメディカルチェックを受け、健康保健証を必ず持参すること。なお、競技上の事故に関しては、大会本部で応急処置をするが、その後の治療は負傷者の所属する県連の責任で行うこと。

②エントリー後の選手変更について

原則として認めない。ただし、疾病等により出場不可能となった場合は、大会日の監督会議にて、交代選手名を届け出ること。

21 懇親会

後日別紙にて案内する。

22 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 選手は競技中のみマスクを外せます。練習中やコート待機中等は、マスクを着用してください。審判員・係員は終日マスクを着用してください。なお、マスクおよびマスクを外した時に入れる袋等は、各自が準備してください。
- ② 試合用安全具（メンホー、拳サポーター、インステップガード等）や帯（紐も含む）の共有は認めません。
- ③ 組手競技では、競技中はメンホーおよびメンホー用口元シールドを装着し、競技中の気合い発声は可とする。なお、試合中メンホー或いは、マウスシールドが取れた場合、試合は一旦停止をし、コート内でのソーシャルディスタンスを保ち、防具を装着し、試合を再開する。
- ④ 本部席および4コートに手指消毒剤を準備しますので、利用ください。
- ⑤ 手洗い場に設置してある「石鹼（ポンプ型）」を使用してください。また、各自が使用したマスクやごみは、必ず持ち帰ってください。
- ⑥ 応援は拍手のみとし、声援はお止めください。（選手同士など）